

いさーち

日上市教育研究所報 294号

令和元年 10月3日発行

〒317-8601 日上市助川町1-1-1

日上市教育研究所長 小池 洋一

夏季教職員研修会を終えて

今年度は延べ1000人を超える先生方に御参加いただき、盛況のうちに夏季教職員研修会を終えることができました。新学習指導要領全面実施を控える時期に、先生方のニーズに合った研修ができるようにしたいと考え、企画・運営をしてきました。

【教師カパワーアップ講座①(道徳)】

講師:小川哲哉(茨城大学 教授)

「考え議論する道徳の授業モデル」をテーマに実施しました。「特別の教科 道徳」として今年度は中学校でも評価が始まった中、指導と評価を一体化した授業方法を分かりやすく講義いただきました。また、実際の教材を使って、参加者で話合ったり、発表したりすることで、問題解決的な学習の方法を学びました。



【教師カパワーアップ講座②(プログラミング教育)】

講師:大西有(茨城大学 准教授)

「まずは、自分でやってみよう!」をテーマに実施しました。来年度から小学校で実践が始まるプログラミング教育について、学校教育へ求められる内容を講義いただき、教材の体験を通して子どもたちに身に付けさせたいプログラミング的思考を授業にどう取り入れていけるかを学びました。



番号	研修会名	参加人数
A 1	第2回初任者研修会	35
A 2	学級経営研修会(ライフスキル研修)	42
B 1	教師カパワーアップ講座① (特別の教科 道徳)	53
B 2	教師カパワーアップ講座② (プログラミング教育)	30
B 3	QU活用研修会①(小学校)	38
B 4	QU活用研修会②(中学校)	25
B 5	教育論文研修会	10
C 1	教育講演会	55
C 2	一般教養研修会	56
D 1	幼稚園・こども園 学級経営研修会	57
D 2	幼稚園・こども園 実技研修会	57
D 3	社会科実技研修会(博物館研修会)	36
D 4	体育実技研修会	55
D 5	道徳科指導法研修会	52
D 6	特別支援教育夏季合同研修会	202
D 7	発達障害の理解と支援研修会	200
	合計	1003

今年度の夏季教職員研修に際しまして、市内の園、小、中、特別支援学校、教育研究部関係の先生方、そして御指導御助言を賜りました講師の先生方に感謝申し上げます。
ありがとうございました。



【QU活用研修会】 テーマ 「学び合う授業を支える学級集団づくり」

講師 武子 みち子（早稲田大学河村茂雄研究室講師）

- QUの「指導に生かせる」見方を知ることができ、大変勉強になった。また、エクササイズが学級経営にプラスになるようなもので、すぐに実践したいと思った。
- QUを活用することで、今のクラスにどのようなアプローチが必要なのか、その手がかりを知ることができた。
- 学級の現状を知ること、2学期の指導を考えることができた。ルール作りのポイント等具体的なお話が良かった。
- 難しいかもしれないが、ぜひ各学年から1名ずつの担任が参加したい研修だと思った。



【一般教養研修会】 テーマ 「ネット・ゲーム依存の実態と予防・対応」

講師 三原 聡子（久里浜医療センター）



- 人はなぜ依存になるのか、という説明がとても分かりやすく納得できた。ネット依存への対応策も具体的ですぐに活用できそうだった。本人の話を聞いて受け入れる重要性も分かったので生かしていきたい。
- ネット・ゲーム依存について、認識不足であったため、講演会の内容は全てが非常に興味深く、今後活用したいと感じた。現在、不登校になっている子にネット依存傾向の子がいる。問題を深刻化させないための具体策が非常に役立つと考えた。
- とても気になる問題であり、学校だけで、家庭だけで対応できないことを再確認した。学校と家庭で協力することが必要だと感じた。

【運動部活動指導法研修会】 テーマ 「これからの部活動の運営について考える」

講師 柴田 一浩（流通経済大学教授）



- 部活動の適切な活動時間と休養時間の設定や、効率的・効果的な動きによるけがの予防など、分かっているつもりになっていたことを改めて、正しく知ることができた。
- 生徒、保護者、地域など、一人一人の部活動に対する意識の差がある中で、持続可能な部活動経営を行うことは非常に難しいことであるが、教員の一人として今後生徒のために何をすべきか、考える良い機会となった。
- 実技研修では、今後のトレーニングにすぐにでも活用したいものばかり、大変参考になった。
- 技術向上やチーム作りはもちろん大切だが、けがをしないために「整える」という考えを学ぶことがなかったので、とても勉強になった。

【発達障害の理解と支援研修会】テーマ「発達支援が必要な子どもの多様性の理解と支援について」

講師 中島 展（こども未来共生会理事長）

- 具体的な事例の話がとても分かりやすかった。一人一人の背景をしっかりと知る重要性や支援の仕方が変わってくることなど、とても参考となった。もっとお話を聞きたかった。
- どうしたら「生きづらさ」に対応してあげられるか、勉強していきたいなどと思った。それぞれの子どもへの特性に対して、いろいろな引き出しをもっていたいと改めて考えることができた。
- 先生のお話は、大変分かりやすく心に響くものがあった。



学級経営研修会（5/17参加研修）



教育講演会



第2回初任者研修会

幼児教育と小学校教育の接続のための研修会



7月31日に『幼児教育と小学校教育の接続のための研修会』を行いました。市内の幼児施設や小学校から管理職や園内リーダー、保幼小接続コーディネーター、担任等62人が参加しました。

講師に茨城女子短期大学教授である助川公継先生をお呼びし、「育ちと学びをつなぐ保幼小の連携・接続」というテーマで、就学前からみた教育の流れなど、国や県の基本方針や市町村での取組を、ポイントと共に教えていただきました。

また、幼稚園教育要領等の改定によりキーワードとなっている「主体的・対話的で深い学び」の視点から、幼児の主体的な学びを充実させていくために、カリキュラム・マネジメントが重要であるというお話もあり、参加された先生方は、自分たちが行っている指導が子どもたちの今後に大きく影響していくということ、それぞれの立場において感じられていたようです。

市内では、小学校26校、公立・私立で無認可を含める幼児教育施設は60を超えます。今後更なる深まりを目指して、どのような連携・接続ができるのか、改めて考えるよい機会となりました。

編集後記



夏休みには、教育研究所の研修会に多数御参加いただき、ありがとうございました。この研修で学んだ実践を園・学校生活に活かし、多くの先生方と共有していただければと思います。何より、先生方自身の笑顔が子どもたちへの最高のプレゼントです。長い2学期ですが、学校生活を安心して子どもたちが送っていけるよう、先生方も健康に留意してお過ごしください。（久保田）